

キラットさん

BE AMBITIOUS

『大高祭成功の立役者』

大館高校 3年

富 樫 義 仁 さん



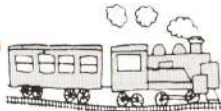
校舎を背にしたの富樫君

学校祭(大高祭)の実行委員長は例年、生徒会長か文化委員長が行っていたそうですが、生徒会長が多忙ということなどから、「彼ならできる」との声があがり、生徒会副会長をしている富樫君に実行委員長の席が回ってきたとのこと。「自分もやりたい」と思っていたことから一発で引き受けたとのことでした。

面を組んで本番に臨んだようです。結果、先生も「彼の頑張りですばらしい大高祭になった」というように大成功。「シミュレーション通り行かない部分もあったが、全部良かった」と自分でも納得のできるものとなりました。

校内を歩いていても、男女別なく、誰からでも声をかけられるのはただ単に、大高祭を成功させたということと彼の甘いマスクのせいだけではないようです。何事も最後までやり通すという芯の強さに併せ、面倒見の良さが感じられ、誰からも信頼されているようでした。また、彼はスポーツマンでもあり、水泳では中学校、高校と東北大会にまで出場したという経験を持っているのです。

巨理発 → 大館着



前略

大館市民になりました

55

今回は有浦二丁目の齋藤祐一さんご一家です。

Q・ご家族は何人ですか?

妻の裕紀子、娘の真梨絵と私の三人です。

Q・どちらからおいでになりましたか?

前回の津留さんと同じくドーム建設のため、六月下旬に仙台市の南部に位置する宮城県巨理町から来ました。

Q・大館の印象はいかがですか?

「山に囲まれ、閉鎖的だ」とか、「よそ者意識が激しいところだ」という印象を持って大館へ来たのですが、実際に来てみたら、人も街も明るいし、みんな親切で、丁寧で優しい街だと感じています。また、長木川は河川敷が良く整備されているうえ、街の中を流れているのに水がきれいで、自然がいっぱいと感じました。

Q・食べ物や言葉はいかがですか?

きりたんぼは結構おいしいと思います。巨理は、ごはんは鮭とイクラをのせた「はらこ飯」が有名で、私も好きなので作って食べるのですが、海から離れている大館では生のイクラが手に入らないと思っていたら、結構手ごろな値段で手に入るのに驚きました。言葉については、最初は良くわからなかったのですが電話を取るのが怖かったです。でも今はだいぶ理解できるようになりました。

Q・大館に何を望みますか?

盛岡へ出るのに電車よりもバスの方が速いというのに驚きました。花輪線をもう少し整備してもらいたいと思います。また、手軽にマシントレーニングなどができる体育施設や子供を満足させることができるような場所がないのが寂しいです。大館のような人口であればもっとあっても良いのではないかと感じています。



自宅で取材に応じてくれた齋藤さん一家